

郷土食を知る

講座

—湖北のまつり・行事のハレの食事—

2024年2月25日(日)開催

14:00～16:00

(受付 13:40～)

会場：滋賀文教短期大学 松翠館 3階 大講義室

対象：一般市民（中学生以上）

定員：50名

参加費無料

ユネスコにより「和食」が食の無形文化財と認められ、日本の各地域で育まれてきた食の文化の価値が見直されています。湖北地域でも郷土食として伝わってきた独自の食文化をもっています。

今回の講座では、「長浜曳山祭」や、この地域特有の年中行事「おこない」のハレの日の食文化を取り上げます。食する料理、お供えの食材や料理などの起源や意味についてお話します。

講師：中島 誠一

- ・ 滋賀文教短期大学 非常勤講師
- ・ 成安造形大学 非常勤講師
- ・ 元長浜市立長浜城歴史博物館館長
- ・ 元長浜市曳山博物館館長

申込み受付中！

お申込み方法は、

裏面を

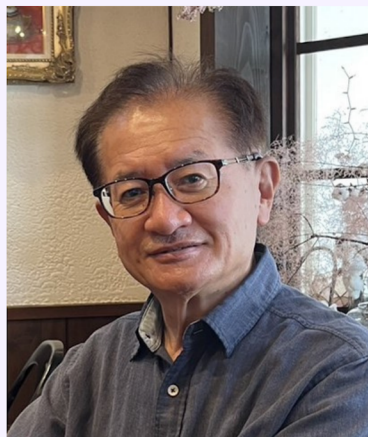
ご覧ください。

主催：びわ湖東北部地域連携協議会

運営主体：滋賀文教短期大学

講師プロフィール

中島 誠一 なかしま せいいち 1950年 長崎県生まれ

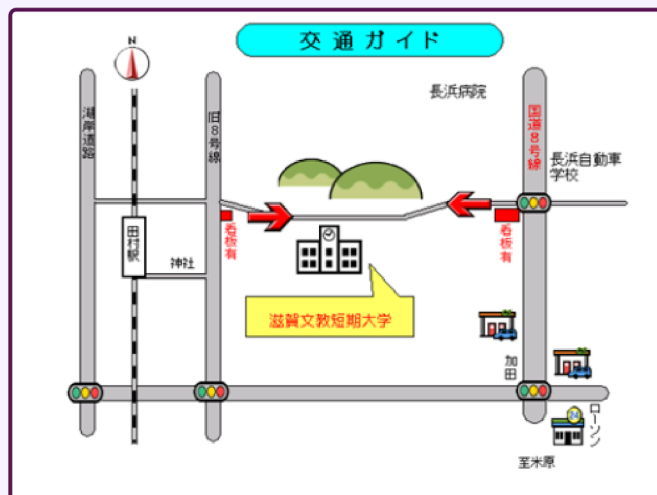


佛教大学大学院文学研究科修士課程修了
佛教大学歴史研究所助手、平安博物館を経て長浜市長浜城歴史博物館に学芸員として勤務、2007年から同博物館館長ののち長浜市曳山博物館館長を経て、現在、成安造形大学、滋賀文教短期大学非常勤講師。滋賀県を中心に祭礼や年中行事の調査を実施、特にオコナイ行事は西日本の各地にその系譜を求める。
著書に『川道のオコナイー湖北に春を呼ぶ一俵鏡餅ー』（サンライズ出版）、共著に『神々の酒肴』（思文閣出版）、『オコナイ湖国・祭りのかたち』（INAX 出版）、『近江の祭りを歩く』（サンライズ出版）などがある。

会場のご案内

📍 滋賀文教短期大学 松翠館 3階 大講義室
(滋賀県長浜市田村町335)

- 電車でお越しの場合
…JR田村駅より徒歩約7分
 - お車でお越しの場合…学内駐車場あり
国道8号線「加田町中」交差点を西(びわ湖方面)に曲がってください(看板あり)。
- * 大学周辺の道は大変狭いため、ご注意ください。



お願い

- 当日、発熱・体調不良の場合は来場をお控えください。
- 気象状況等により中止となる場合には、本学ホームページにてお知らせします。

お申込み方法

～いずれかの方法でお申し込みください～

- ① フォーム (掲載QRコードから)
- ② 電話 0749-63-5815 (月曜～金曜 9時～17時半)

* 土日祝は休業日。その他の休業日は、本学ホームページでご確認ください。

「2/25の講座の申し込み」とお伝えください。

* 収集した情報は、お申し込みの講座運営のみに使用します。



お申し込み、受付中です！

* 定員になり次第、受付を終了させていただきます *

定員：50名